

プレアヴィヒア ナチュラルプロジェクト

日本カンボジア文化産業振興会

現地でもロックダウン発令



以前から、村でもコロナ感染の発生した場所では二週間の隔離を実施されていましたが、主要のマーケットでコロナ感染者が発生したことをきっかけに、村全体で感染拡大防止の為、ロックダウンという措置が取られました。プノンペンでロックダウンが発令された際も、村ではそれを感じさせない一面がありました。このロックダウンでは警察や軍隊が総出で村の監視を行い村内の移動にもゲートが設けられ、いつも通り動けなくなりました。

編集後記

各地でラピットテスト、ワクチン接種会場を設けて処置が進められています。カンボジアには日本、アメリカからアストラゼネカのワクチンも給与されています。これまでシノファーム、シノバックのワクチンを接種した人が多いですが、現在変異株として猛威を振るっているデルタ株には効力が無いという情報も出回り、再びワクチンの接種を求める方も出てきています。また陽性者の隔離施設も間に合っていないため、自宅で二週間の隔離といった状況が続いていますが、外出をする方もいる為、陰性の方が危険に感じている現状もあります。

